

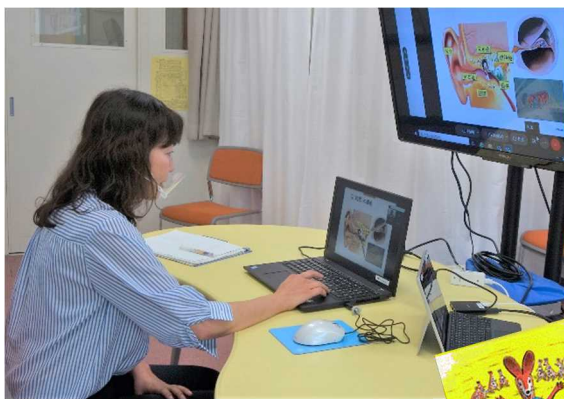


令和3年度 巡回きこえとことばの学習会

R3.8.19 実施



今年度は、大垣市の特別支援教育研究部会の先生方や聴覚障がい児に関わる方々、保護者に向けて、Web 配信による学習会を行いました。学習会では、愛知教育大学特別支援教育講座教授の岩田吉生先生による「きこえにくさへの理解と支援」、本校職員による「きこえにくってどんなこと？」という二つの講話を行いました。



本校職員による講話

学習会①

「きこえにくってどんなこと？」の講話では、きこえの仕組みや難聴のきこえについての話や、補聴器や人工内耳のみの時と補聴援助システムを使用した時との聞こえ方の違いの体験をしました。

また、大垣市を舞台にした「聲の形」という映画の話や「ポケットのないカンガルー」という絵本のエピソードを織り交ぜた話などでは、「コミュニケーションや支援の方法は、一通りではない」といったメッセージを伝えました。



学習会②

岩田吉生先生による「きこえにくさへの理解と支援」という講話がありました。

前半は、聴覚障害児の小中学校での学びの支援や高校入試、大学での支援や聴覚障害者の就労に焦点を当てたお話をさせていただきました。支援する側の理解や配慮、また自ら合理的配慮を求めることができる力を育むことの大切さなどを学ぶことができました。

後半は、聴覚障害児のことばの支援に焦点を当て、語彙の獲得や文法の指導、障害認識について、熱のこもったお話をさせていただきました。指導の基本は子どもとの信頼関係を深めることであり、障害特性や認知特性を踏まえて楽しく寄り添った指導であることを、心に刻むことができました。



岩田先生による講話

